

3 - 8 関東地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kanto District

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は、東京原点から藤沢市にかけての路線における水準測量結果である。ここ数年大きな変動はない。

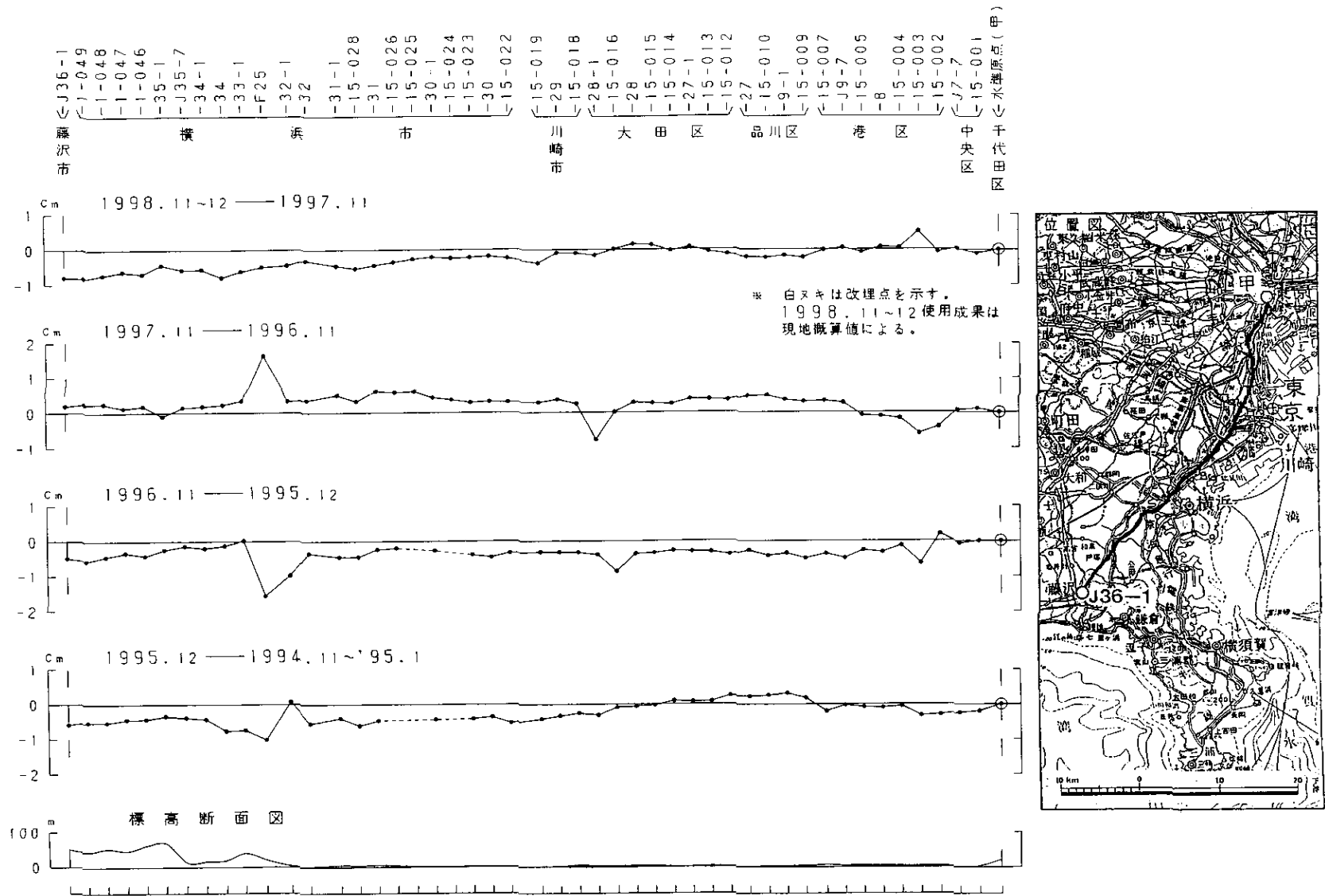
第2図および第3図は、水準原点を出発し、浦和市、越谷市、三郷市、市川市、船橋市を経て東京、埼玉、千葉県西部を周回し、水準原点に帰着する路線の水準測量結果である。北側の路線では、最近の1年間で、特に大きな変動はないが、東京原点から千葉市にかけて、やや東下がりの沈降が見られる(第3図)。

第4図は、神奈川県藤沢市から静岡県清水市にかけての水準測量結果である。小田原市周辺に小さな沈降が見られるが量的には大きなものではない。

第5図～第7図は、三浦半島の水準測量結果である。この1年間で大きな変動はない。また、第7図に示される三浦半島の経年的な沈降の様子も、最近特に傾向が変わった点は見られない。

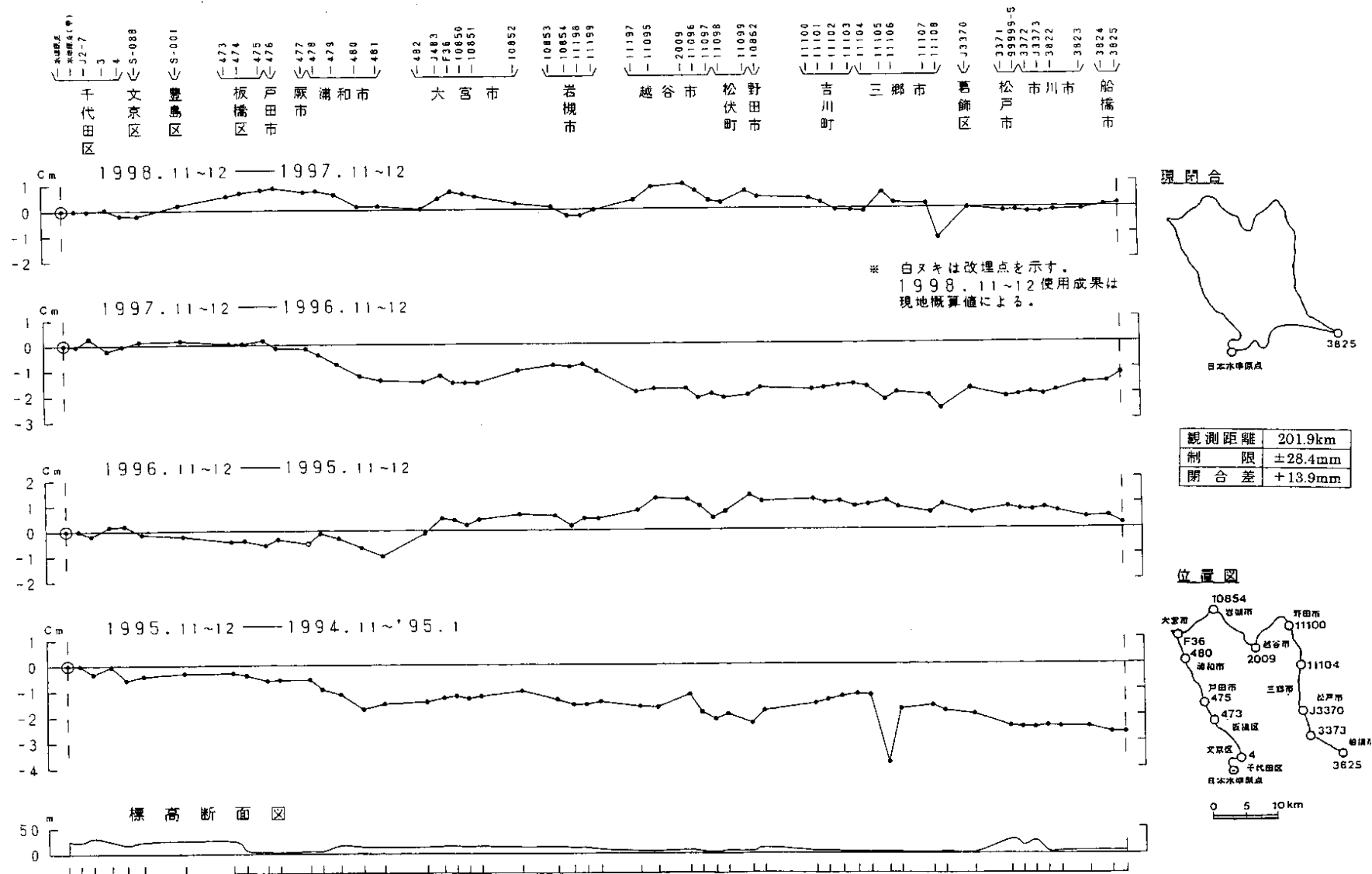
第8図は、関東地方の験潮場の月平均潮位差である。特に大きな傾向の変化は見られない。

第9図は、鹿野山精密辺長測量結果である。1995年の破線で示す時点で鹿野山の器械点の場所が変更されており、データの継続性はないことに注意を要する。東西、南北、北西 - 南東方向の3基線ともほぼ単調に縮んでおり、従来からの傾向が継続しているように見える。



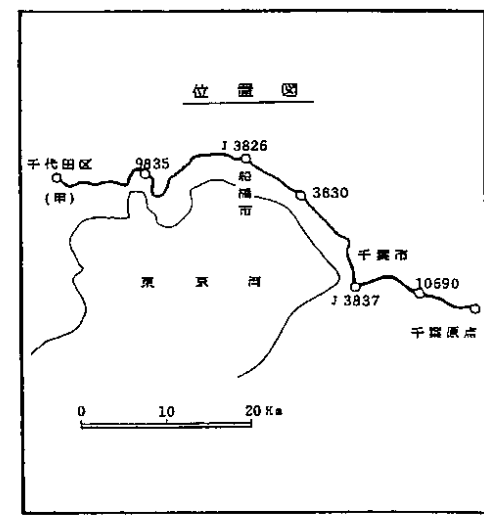
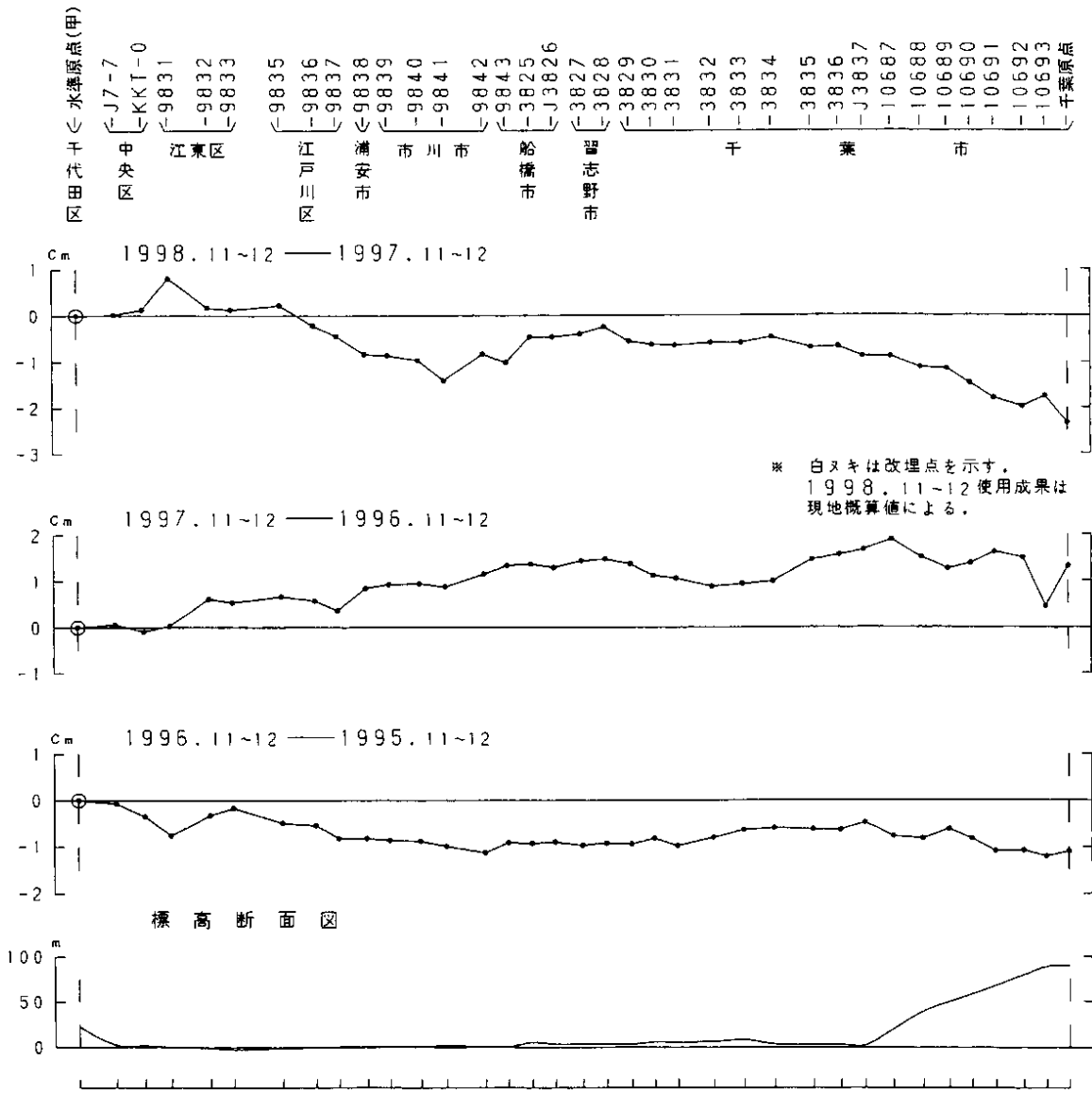
第1図 東京原点～藤沢市間路線水準測量結果

Fig.1 Results of precise leveling along the route between Datum (Tokyo) and Fujisawa.



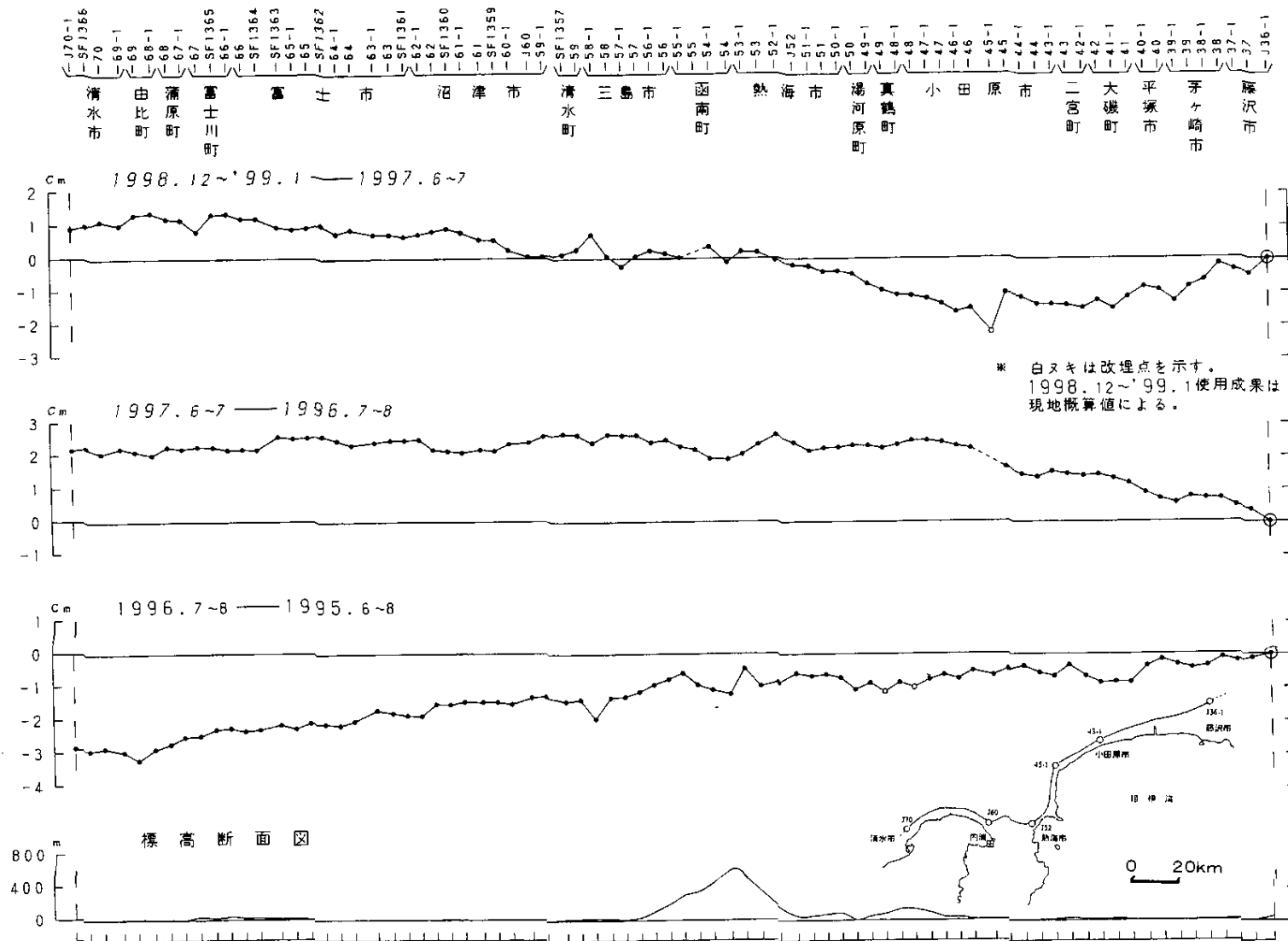
第2図 水準原点、浦和市、越谷市、三郷市、市川市、船橋市間路線水準測量結果

Fig.2 Results of precise leveling along the route between Datum (Tokyo) and Funabashi through Urawa, Koshigaya, Misato and Ichikawa.



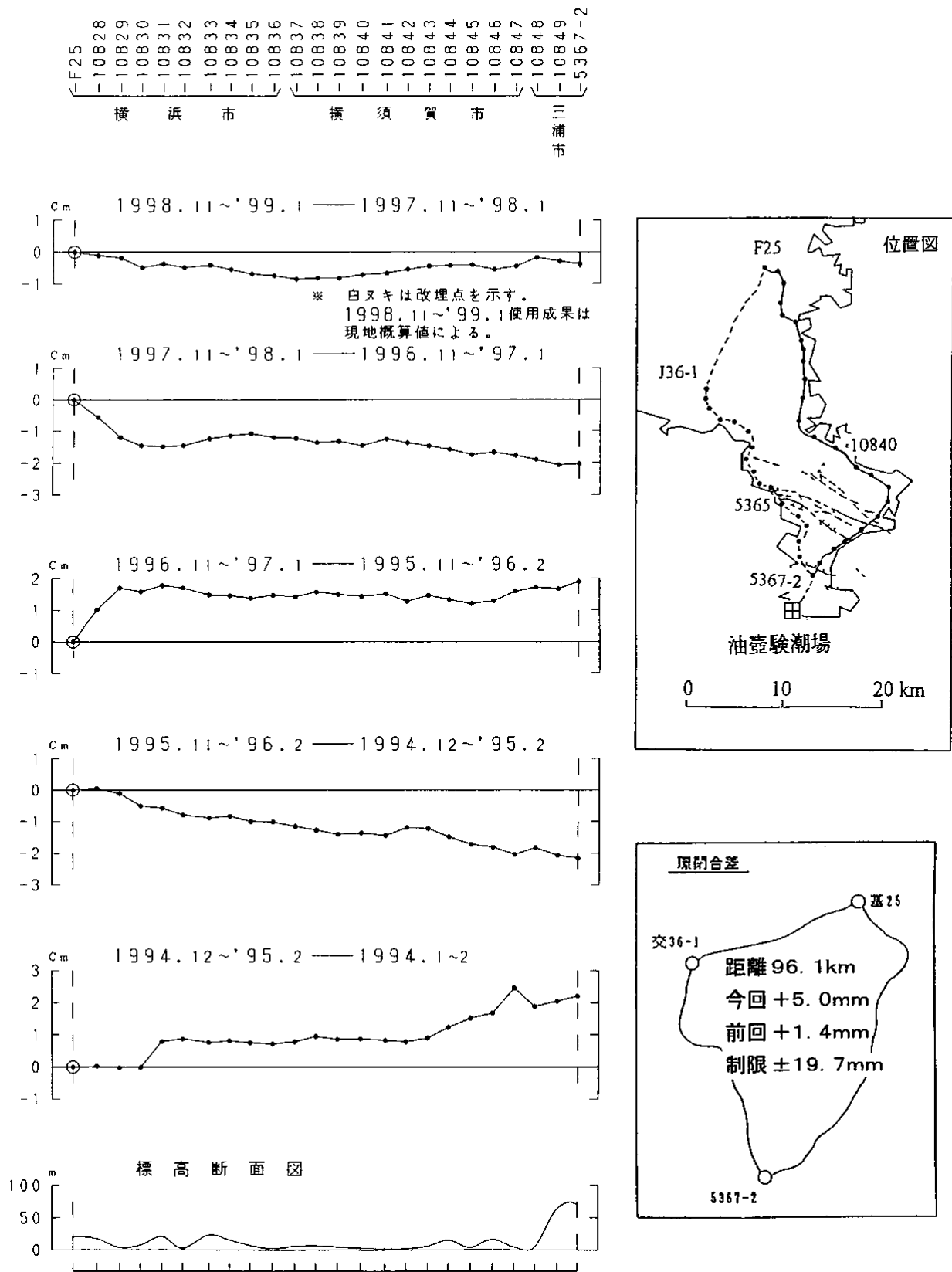
第3図 水準原点、船橋市、千葉市、千葉原点間路線水準測量結果

Fig.3 Results of precise leveling along the route between Datum (Tokyo) and Chiba Datum through Funabashi and Chiba.



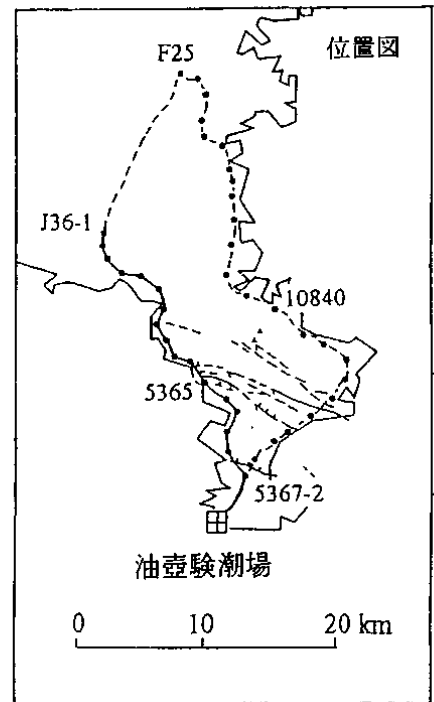
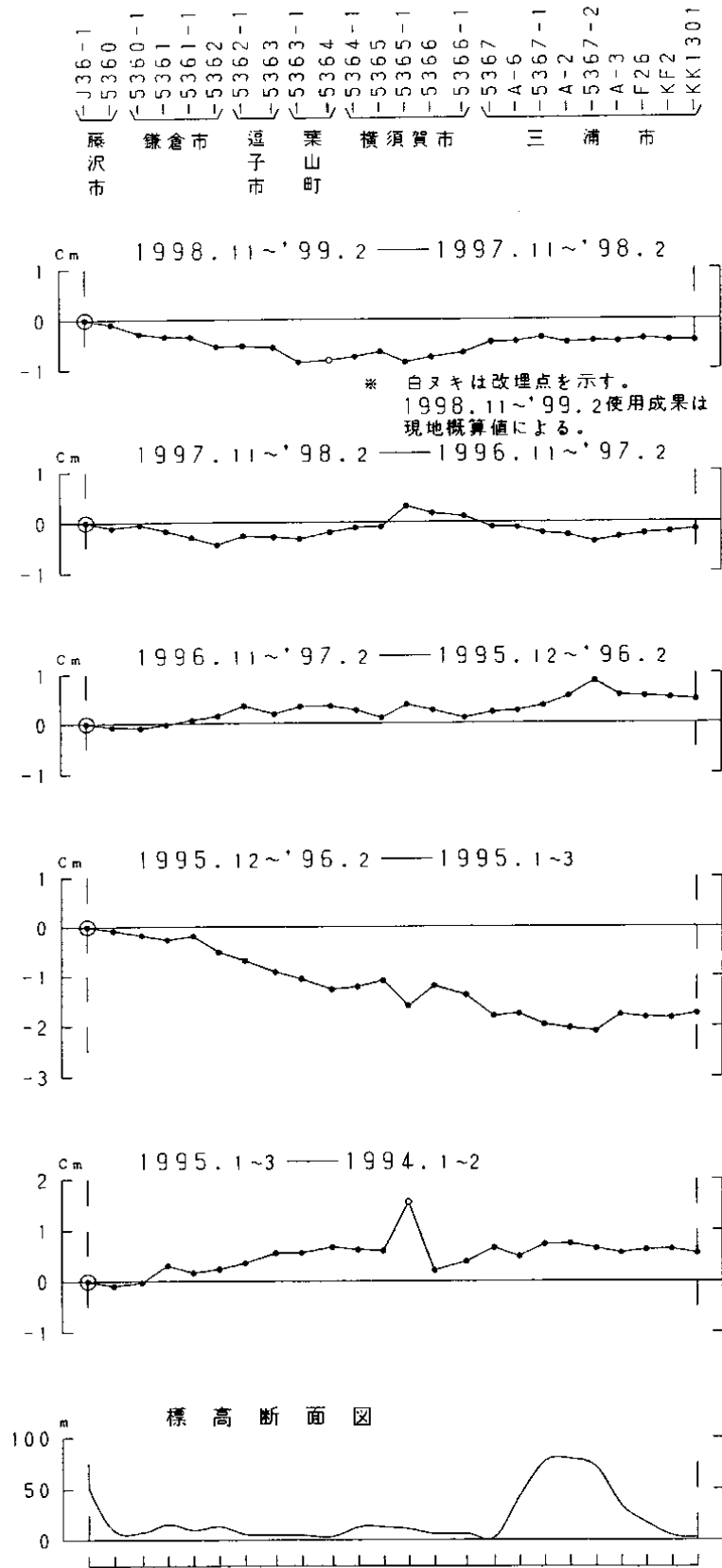
第4図 藤沢市～清水市間路線水準測量結果

Fig.4 Results of precise leveling along the route between Fujisawa and Shimizu.



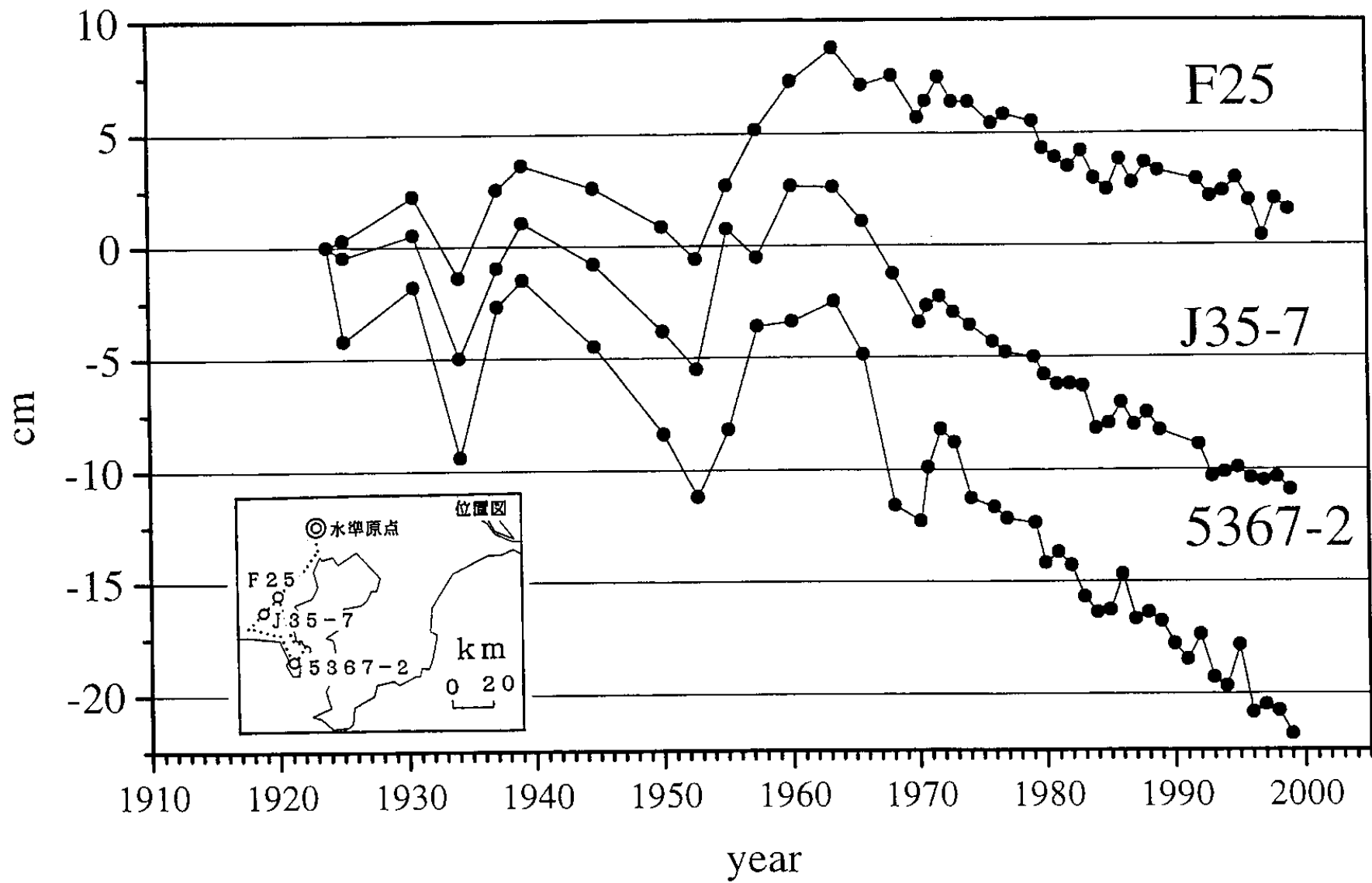
第5図 三浦半島の水準測量結果 (その1)

Fig.5 Results of precise leveling in Miura Pneninsula (1 of 3).



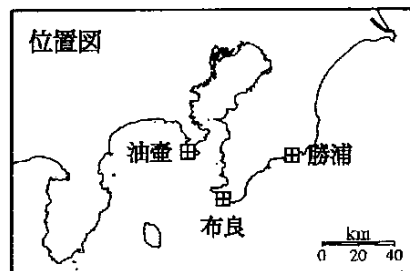
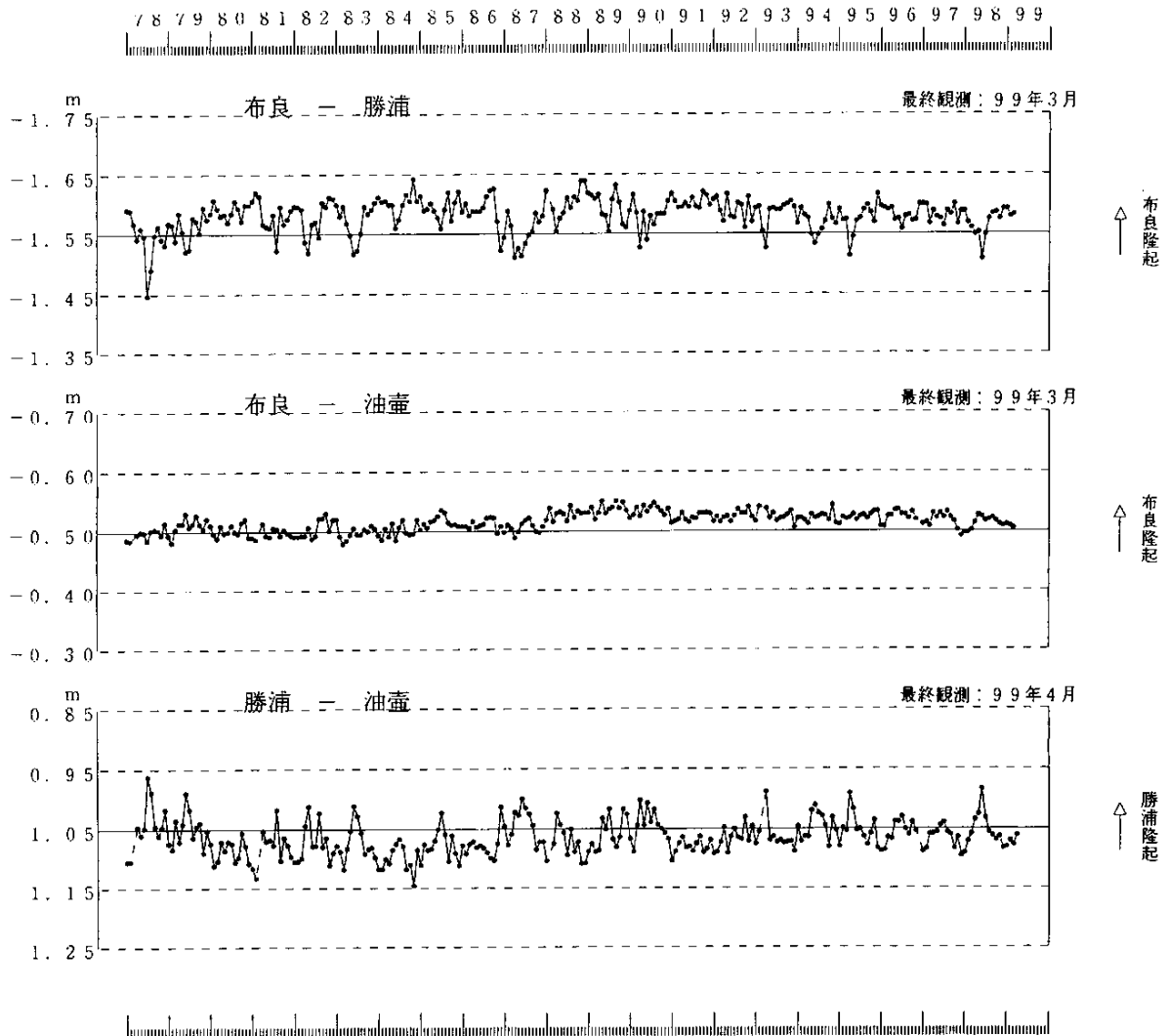
第6図 三浦半島の水準測量結果(その2)

Fig.6 Results of precise leveling in Miura Pneninsula (2 of 3).



第7図 三浦半島の水準測量結果(その3)

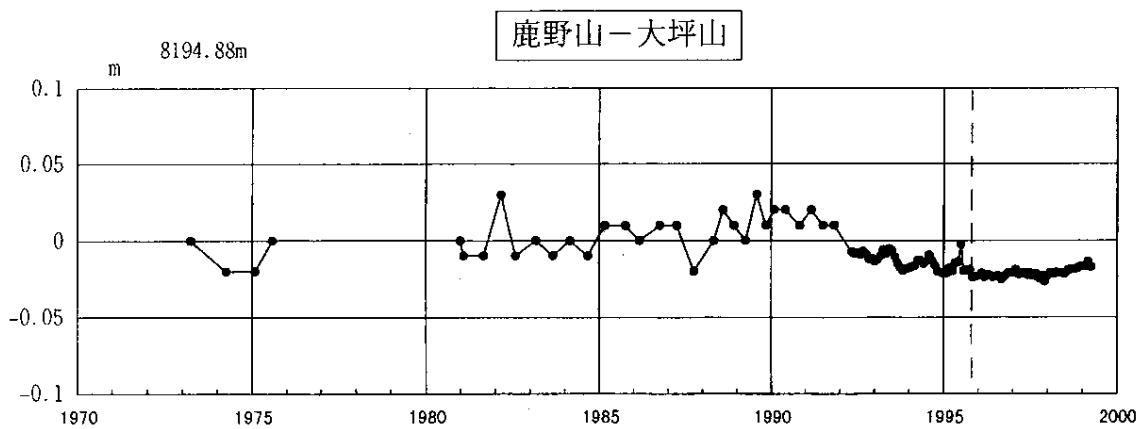
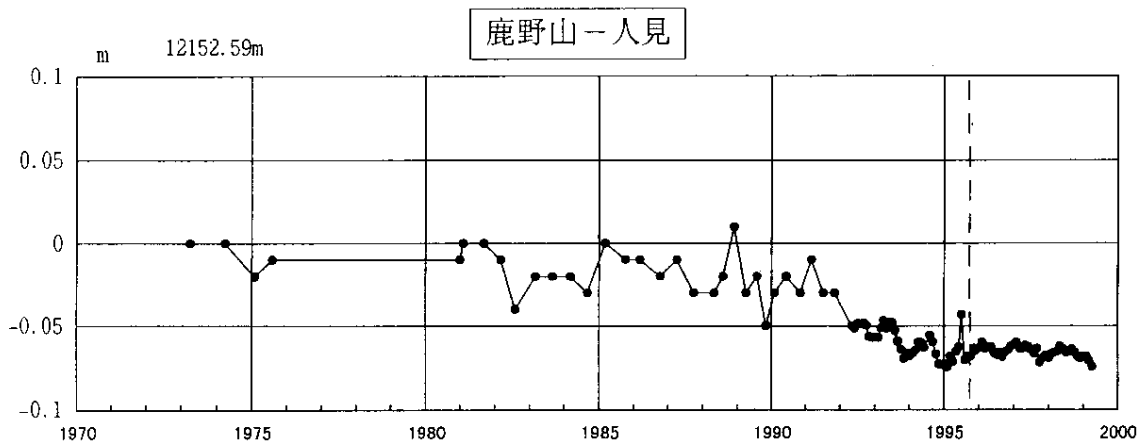
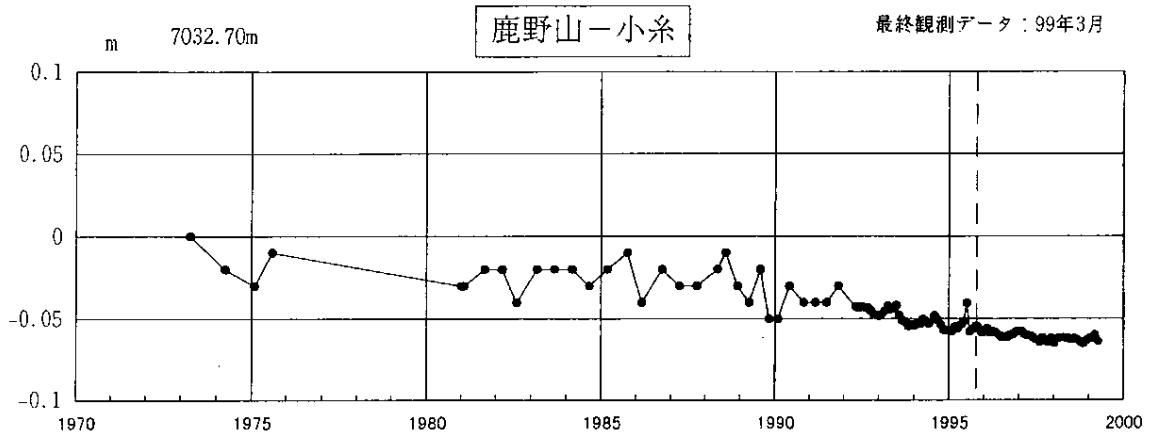
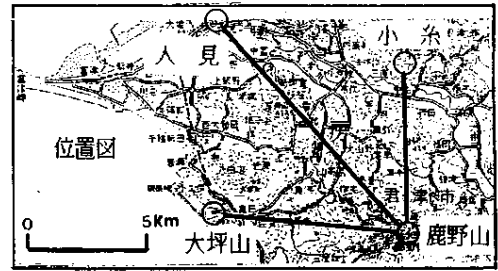
Fig.7 Results of precise leveling in Miura Pneninsula (3 of 3).



第8図 油壺、布良、勝浦験潮場間月平均潮位差

Fig.8 Differences of monthly mean values of sea level measured at 3 tide gauge stations in Kanto area.

1992年4月からのデータは月平均値
 1995年10月から器械点移動



第9図 鹿野山精密辺長測量結果

Fig.9 Results of precise distance measurements at Kanozan.